

センダン等の造林・保育施業の現地検討について(1日目)

場 所 : 宮崎県日向市 音羽山国有林2く林小班
(宮崎北部森林管理署管内)

日 時 : 令和2年8月27日
13:00~16:00

参加者 : (一社)日本森林技術協会九州事務所 中村主任研究員
九州森林管理局技術普及課職員
宮崎北部森林管理署職員



日本全国を駆け回って多忙を極める(一社)日本森林技術協会九州事務所 中村主任研究員をお招きし、センダン等早生樹(平成29年度植栽:単木保護資材(ツリシエルター等)設置箇所及びセンダン天然更新箇所)の今後の施業方法について現地検討を行いました。

その中で、形質不良なセンダンについてはある一定の高さまで成長させ、その後台切りし、萌芽が数本発生したら、その中の1本を仕立てる。また、天然更新については極めて珍しいことから、今後施業方法等も含めて引き続き、経過観察等を続けて行くこととしています。



センダン等の造林・保育施業の現地検討について(2日目)

場 所 : 宮崎県宮崎市 去川国有林268林班外
(宮崎森林管理署管内)

日 時 : 令和2年8月28日
10:00~14:00

参加者 : (一社)日本森林技術協会九州事務所 中村主任研究員
綾町森林・林業検討会委員
九州森林管理局技術普及課職員
宮崎森林管理署職員



前日に引き続き、(一社)日本森林技術協会九州事務所中村主任研究員をお招きし、林野庁の委託事業で実施したセンダン、コウヨウザンの植栽箇所の経過状況及び試験結果から見てきた初期保育の課題について説明をいただきました。

午後からは、広葉樹展示林内の学習館にて「センダン・コウヨウザンを利用した森林整備について」と題して、再造林の必要性、早生樹造林のポイント、初期保育の留意事項等について講演をいただきました。

今回は早生樹に絞った現地検討等を催しましたが、今後とも関係者のご協力を得て、様々な形で、現地検討会を開催したいと考えています。

